

2階建ての実習棟内で、実際に起こりうる様々な危険を再現・体験。



工具や保護用具の重要性、墜落の衝撃などを学習。

墜落やぶら下がりなど、柱上で起こりうる危険を中心に、工具や安全帯等の正しい使い方を学習します。また、エントランス左の展示スペースには安全年表と社史、殉職者名簿を展示し、中電工が歩んできた安全への取り組みを紹介しています。



実際の高圧・低圧充電線を用いた短絡(ショート)等を再現。

労働災害のなかでも重大かつ危険な事故のひとつである、「感電・短絡(ショート)」を実際の充電線を用いて音、光、火の衝撃を実際に再現します。さらに、安全運転シミュレータを用いた交通安全指導等も行います。



不意に落下する際の恐怖感・衝撃を体験！



6



4

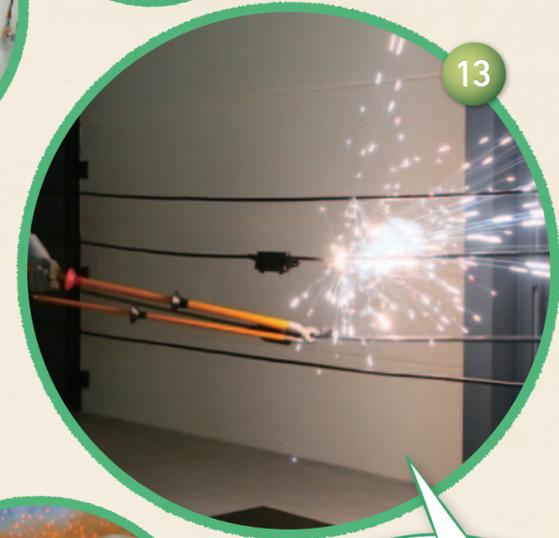


17



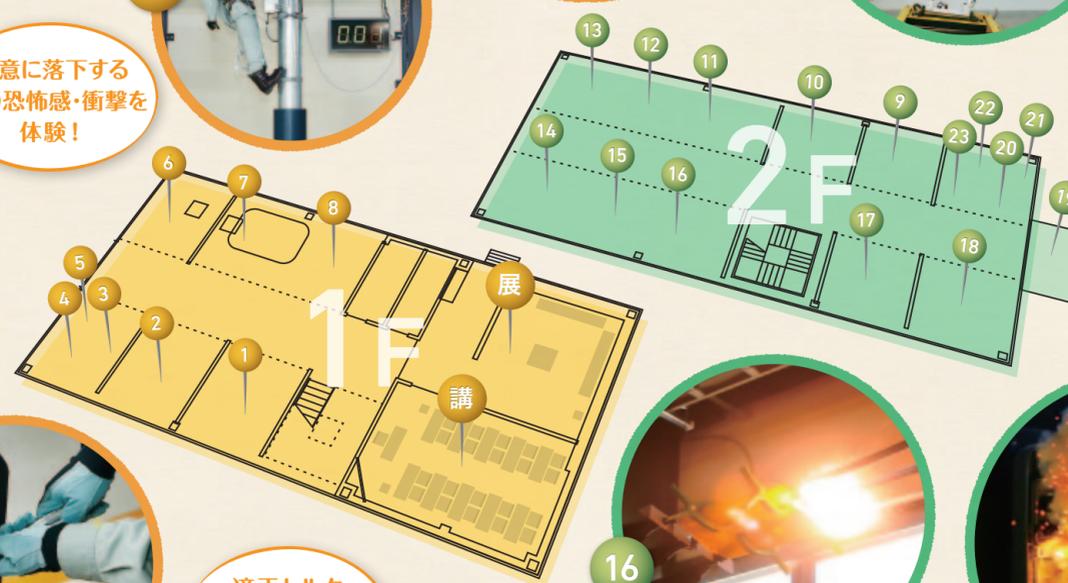
9

指先がピリピリする感覚を乾湿の差で体験！



13

線間短絡(ショート)と同時に、音と火花が発生！



適正トルク
および捻じ切れる
感覚を体験！

1F[展示スペース]

中電工の歩みと、これまで発生した事故を写真と記事で紹介。

1F[講義室]

約20人が収容できる講義室。体感実習の概要を説明します。

- ①[ボルトの切断体験] 六角ボルトを適正トルクで締めた場合と捻じ切れるまで締めた場合を体験。
- ②[落下物衝撃体験] 高さ約2mの位置から約100gのボルトを安全帽頂点に落下。落下物に対する危険感受性を高め、安全帽装着の重要性を再認識。
- ③④[ワイヤー挟まれ体験/再現] 玉掛けワイヤーと吊下げドラム缶(軽)の間に指を挟ませ痛みを体験。また、吊下げドラム缶(重)の間に模擬指を挟ませ、その景況を再現。
- ⑤[機械装置挟まれ再現] ④と同様に油圧式圧着工具に模擬指を挟み危険感受性を向上。
- ⑥[柱上ぶら下がり再現] 補助ロープを柱高約2mに取り付けた人形を落とし、衝撃の受け方を確認。正しい補助ロープの取付位置を認識。
- ⑦[墜落体験] 柱高約50cmの位置から後ろ向きに転落。不意に落下する際の恐怖感や地表衝突時の衝撃を体験し、墜落に関する危険感受性を深める。
- ⑧[ぶら下がり体験] 柱上安全帯を装着して1本吊りの状態でのぶら下がりを実施。装着位置の違いによる腹部への圧迫感の違いを認識。
- ⑨[低圧感電体験] 乾湿両状態の指を受電部に触れ、電圧を変えながら感覚の違いを認識。不注意や器具不良時等の感電への危険感受性を深める。
- ⑩[低圧計器短絡再現] 短絡させた計器の前に人形を立たせ、短絡(ショート)に伴うアーク発生状況等を再現。防具や作業位置等の重要性を認識。
- ⑪[低圧充電線路短絡体験] 充電引込線をペンチで切断し、短絡(ショート)に伴うアークの状況を体験。正しい作業要領を再認識。
- ⑫[引込線被覆損傷再現] 被覆損傷させた引込線を湿潤させたあとと感電させ、火、光を再現。
- ⑬[低圧線間短絡再現] 充電低圧線路を線間短絡(ショート)させ、音、光、火を再現し危険を実感。
- ⑭[高圧感電再現] 人形を高圧充電線に接触させ、感電した際の音・光を再現して危険を実感。高圧感電に対する危険感受性を深める。
- ⑮[絶縁破壊再現] 絶縁不良を作為した間接活線工具を高圧部に接触し、絶縁破壊状況(火花等)を再現。
- ⑯[高圧線間短絡再現] 湿潤させた高圧充電線が線間短絡(ショート)した際の音、光、火を再現して、高圧線間短絡(ショート)に対する危険感受性を深める。
- ⑰[梯子の横(縦)すべり体験] 体験者を梯子に昇らせ、梯子の横滑り及び縦滑りの状況を作為。不意にすべる際の恐怖感を体験。
- ⑱[脚立の開き(横)倒れ体験] 体験者を脚立に昇らせ、脚立の開き倒れ及び横倒れの状況を作為。不意に倒れる際の恐怖感を体験。
- ⑲[地上への落下再現] 2階から人形を墜落。墜落景況と地上激突時の衝撃を再現し、高所作業の安全処置の重要性を再認識。
- ⑳～㉓[交通安全] 運転・歩行能力診断器・運転シミュレータ等により、体験、診断を実施。運転能力の低い部分を自覚し、運転事故防止を図る。